

心のバリアフリーの

実現を目指して

地域とのつながりを

深めながら

山口県立田布施総合支援学校

校長

山中 順子

本校では、昨年度末より新型コロナウイルス感染症予防のため、臨時休業が続いています。子ども達は、障がいとあわせてさまざまな健康面の配慮が必要です。この原稿を町民の皆さまが読んでくださるころには全国や県で終息に向かい、学校が再開し、子ども達が元気に登校できていることを願いながら書いています。

本校の児童生徒は、岩国市・和木町から周南市までの広い地域から通学しています。通学バス、電車、自転車、保護者の送迎などさまざまな方法で通学しています。学習の方法もその子どもの障がいや体調に合わせて行い、将来は、社会で自分に合った仕事をしながらいきいきと暮らすことを目指しています。子ども達は、学校のある田布施町

と自分の住んでいるそれぞれの市や町で暮らしています。そして、どちらの地域も大切な存在です。

本校では、3年前からコミュニケーション・スクールになりました。この取組を通して、田布施町の皆さまにも学校に足を運んでいただく機会が増え、ご意見やアイデアをいただけるようになりました。これまで交流のある城南小学校、田布施中学校、田布施図書館の方や高等部の生徒が実習でお世話になっていて、事業所の方々、近隣の高等学校の皆さんとは、これからも交流し、新しい方とのつながりも育んでいきたいと考えています。

9月には、高等部が、旧田布施工業高校跡地に移転します。そこには地域交流室や喫茶室もできます。小中学校校舎には広い農園もあり空き教室の活用も考えています。ぜひこれを読んでくださった皆さまに田布施総合支援学校のよき理解者になっていただき、子ども達の成長と一緒に応援していただきたいと思います。よろしくお願います。

地域のかを学校に！



学習支援ボランティアバンク
社会教育課

『学習支援ボランティアバンク』をご存知ですか。

学習支援ボランティアバンクとは、保護者や地域および学校支援関係者を対象にボランティアでの学習支援を行う、登録制の教育支援組織のことをいいます。

町内各小、中、支援学校から応援要請があれば、学習支援ボランティアバンクに登録されている保護者や地域の方々や日常の授業に入り、先生方の支援と子ども達の学びをサポートしています。指導ではなく、助言やサポートです。支援に入っていたためボランティアマニアルはありますが、資格は不要です。学校からの応援要請



▲校外学習の引率支援

に対して都合のつく人が支援に入ります。『無理は禁物、出来る事を出来る時に参加を』と呼び掛けています。下表の支援メニューがありますが、利用頻度は学校によって違います。登録の際、支援できる内容や行く学校を選ぶことができます。

現在60人が登録しています。依頼などの連絡はメールを利用してありますが、電話やFAXを利用する人もおられます。

登録受付は、随時行っていますので、あなたも登録してみませんか。

内容、手続きなどの詳細はお問い合わせください。

◇問合せ先

田布施町教育委員会

社会教育課

☎ 52・5813

E-mail syakaikoiku@town.tabuse.yamaguchi.jp

令和2年度学習支援のメニュー

・裁縫、ミシン補助	・音楽補助（合奏・合唱）
・調理の補助、食育補助	・菜園の畝作り補助
・工作補助、見守り	・体育見守り
・校外学習の引率、見守り	・英会話の補助
・校内環境美化整備	・算数〇つけ補助
・読み聞かせ、図書関係補助	・伝承遊び補助
・託児支援、見守り	その他（パソコン、着付け、点字）